

50年後、どんな首里のまちにしたいですか？

首里杜地区まちづくり団体連絡協議会からの提言概要版（案）

首里杜地区まちづくり団体連絡協議会（首里社会議）

首里振興会

古都首里のまちづくり期成会

御茶屋御殿復元期成会

城西小学校区まちづくり協議会

首里三ヶ城南校区まちづくり協議会

N P O法人首里まちづくり研究会

50年後、どんな首里のまちにしたいですか？

首里杜地区まちづくり団体連絡協議会（首里社会議）提言概要版（案）

首里城復興基本方針 6 「新・首里杜構想」による歴史まちづくりの推進

基本方針の文言	地域住民からの提言概要		
(1) 歴史を体現できる風格ある都市空間の創出	自然と歴史と文化が調和する風格あるまち	●首里城や玉陵、園比屋武御嶽石門等、復元整備された文化財同等の固有性を大切にした本物指向の建造物や工作物等の整備	
(2) 首里城公園及び周辺地域の段階的整備		首里杜地区を点ではなく面として周遊できる環境へ	●首里城や首里八景からの眺望（歴史的風土保全地区内）を重視したまちなみや風格あるスーヅグワの整備
(3) 交通環境の整備			●地形・地質、水系、植生等を基盤にできた首里の歴史的環境を再確認し、特に水と緑の潤いが感じられる豊かな環境の整備
(4) 情報発信・情報共有	●中城御殿、円覚寺、御茶屋御殿、松崎馬場、中山門、弁ヶ嶽石門、伊江殿内庭園などの段階的整備のためのロードマップの作成		
(3) 交通環境の整備	渋滞のない、住民にも観光客にもやさしく、歩きやすいまち	●旧国宝や県・市指定文化財、その他の地域文化財などの整理を行い、文化財や遺跡などの保全や整備、活用方法についての検討	
(4) 情報発信・情報共有		●染物や織物、泡盛等、王朝時代から連綿と続く伝統産業に子どもを始め、県民や観光客が直に触れることのできる文化を楽しめる拠点の整備	
(1) 歴史を体現できる風格ある都市空間の創出		●とにかく歩行者優先、安心安全歩いて楽しいまちづくりを目指す	
(1) 歴史を体現できる風格ある都市空間の創出	自然と歴史と文化が調和する風格あるまち	●免許返納時代に対応した交通福祉ニーズにも応えるために、新しい交通手段も活用した交通特区も検討を	
(2) 首里城公園及び周辺地域の段階的整備		●首里のまちのキャパシティはいったいどれくらいが適切なのかをしっかりと調査	
(3) 交通環境の整備		●首里城並びに首里地域（首里杜地区）における風格ある歴史的風致を体現するため、スマホやインターネット対応のVR/ARを推進し、様々な情報をタイムリーに発信	
(4) 情報発信・情報共有	今後のまちづくり全般にICTが盛り込まれた環境へ	●来訪者が立ち寄る箇所へ案内板とQRコードを設置し、道案内や名所旧跡、防災情報等多面的な情報を提供し、周遊できる環境を整備	
(1) 歴史を体現できる風格ある都市空間の創出		●来訪者が立ち寄る箇所へ案内板とQRコードを設置し、道案内や名所旧跡、防災情報等多面的な情報を提供し、周遊できる環境を整備	

首里城復興基本方針 7 歴史の継承と資産としての活用

基本方針の文言	地域住民からの提言概要	
(1) 多様で魅力ある観光資源の活用	地域の歴史と伝統文化を体感できる整備で、住民と訪問者双方が満足するまち	<ul style="list-style-type: none"> ●アフターコロナの時代を見据えた市場調査の上で、エビデンスに基づいたハード面・ソフト面を含めた総合的な環境整備の検討 ●歩道や街路樹、東屋や屋根付きバス停、ポケットパーク（小広場）など周遊性の向上を考慮したハード整備 ●適正な入域者数コントロールと「首里に来れば本物に触れられる」という質の高い体験ができる場づくりで、満足度とリピート率の向上を
(2) 平和を希求する「沖縄のこころ」の発信	近現代史も含め、足元の琉球・沖縄史を学べる場に	<ul style="list-style-type: none"> ●学びの場としての32軍司令部壕の活用および学習拠点の整備。1954年ハーグ条約の理念をふまえ、世界遺産首里城跡の地下に沖縄戦の負の遺産32軍司令部壕が築かれていたことが一目瞭然の環境を整えば、平和を希求する「沖縄のこころ」を世界に向けて発信できる。 ●グスクの中に祈りの場を設け世の安寧を願ってきた琉球人たちの祈りのこころは、平和を希求する「沖縄のこころ」として受け継がれている。グスク時代から現代まで続く首里城の長い歴史を学べる仕組みを作り、県民には「沖縄のこころ」の再認識を、訪問客には「平和を希求する沖縄のこころ」の発信をめざす。
(3) 次世代を担う子供たちへの継承	首里杜地区が地元であることを子供たちが誇りに思える場に	<ul style="list-style-type: none"> ●国・県・市・首里城公園指定管理者・地域の5者で、次世代継承に関する協議の場を定期的に設ける ●首里杜地区にある文化財に関して、地域での活用促進 ●芸能・文化・芸術に触れる機会の創出

首里城復興基本方針 9 基本計画の策定・推進

(3) 県民等の継続的な参加による復興	行政と住民が協働してつくりあげる首里のまち	<ul style="list-style-type: none"> ●新・首里杜構想実現のためには長い歳月を要するため、国や県、市、まちづくり団体、住民等によるまちづくり協議会等をつくり継続的なまちづくり活動を推進する ●市民と行政が参画するまちづくり協議会等で出た課題について、県や市といった行政の枠を越え、横の連携がとれた体制をつくり対応する ●首里まちづくりに関する意識化を図るため、首里の歴史や文化等を学べる場をつくり、継続して復興に取り組める機会を設ける ●50年後の首里のまちを見据えた「首里まちづくり憲章（仮）」の策定
---------------------	------------------------------	---